

# 産学連携コーディネーター 優良事例

【NPO法人 東海地域生物系先端技術研究会支援】

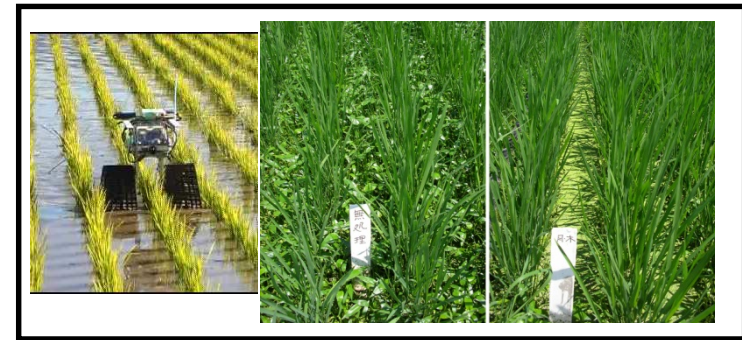
## ◆水田の環境保全に配慮した小型除草ロボットによる除草技術の開発 (2010～2012年度)

共同研究機関: 岐阜県情報技術研究所、岐阜県中山間農業研究所、岐阜県(農業技術課技術支援担当、東濃農林事務所)、  
みのる産業(株)、(株)常盤電気、岐阜大学

**研究概要:** 本実用化研究は、除草剤に代わる小型除草ロボットによる新たな除草技術を確立し、稲作におけるぎふクリーン農業の省力化と普及拡大に貢献することを目指す。

課題は如何に実用化に繋げるかであり、1)除草技術の効率化、2)除草効果向上のための技術の確立、3)ロボットの改良開発、4)運用マニュアルの作成を行い、成果を現地で実証する。

これにより、除草作業の過酷な肉体労働から解放され、直接労働時間の短縮(10時間→1～1.5時間/10a)等が期待できる。



無処理区

ロボット除草区

### 課題提案者の感想: 産学官連携コーディネーターの支援に対して



岐阜県  
情報技術研究所  
光井 研究員

提案書作成の段階から東海地域生物系先端技術研究会のコーディネーターとの打合せを重ね、研究内容についてアドバイスを受けながら地域活性化に繋がられるよう検討した。

現場ニーズに対応し、農政の施策に沿った適切なアドバイスにより、課題構成やヒアリング対応に自信を持って望めたことが非常に大きかった。懇切なる助言や支援をいただいたことに深く感謝している。